

1. 課題名

マルチプレックスコンパニオン診断でドライバー遺伝子変異・転座陰性が確認された非小細胞肺癌患者における包括的がんゲノムプロファイリングの有用性を評価する前向き観察研究

2. 担当科 申請者

呼吸器内科 藤井 雅人

3. 研究期間

倫理審査委員会承認日 から 2028 年 10 月 まで

4. 目的

マルチプレックスコンパニオン診断により、承認薬が存在するドライバー遺伝子変異・転座の陰性が確認されている進行・再発非小細胞肺癌患者において、標準治療が終了見込みとなった時点で包括的がんゲノムプロファイリングが行われた場合の有用性を前向きに評価する。

対象：マルチプレックスコンパニオン診断でドライバー遺伝子変異・転座陰性が確認されている局所進行、再発、もしくは転移を有する非小肺細胞肺癌の方で、標準治療が終了、あるいは終了が見込まれ、2023 年～2028 年に包括的がんゲノムプロファイリング検査が予定されている 20 歳以上の患者さん

利用又は提供する試料・情報

試料・情報：診療情報や包括的がんゲノムプロファイリング検査のデータ

5. 研究代表者

浜松医科大学 理事・副学長 須田 隆文

7. 倫理審査委員会

本研究の実施については令和 7 年 8 月 28 日に当院医学系研究等倫理審査委員会にて承認された。

<当施設の研究責任者（相談窓口）>

所 属： 静岡市立静岡病院 呼吸器内科

研究責任医師： 藤井 雅人

電 話 番 号： 0 5 4 - 2 5 3 - 3 1 2 5（代表）

<研究に関する資料の入手や閲覧・問い合わせ>

相 談 窓 口： 静岡市立静岡病院 臨床試験管理センター

電 話 番 号： 0 5 4 - 2 5 3 - 3 1 2 5（代表）

e-mail： chicken2@shizuokahospital.jp